



四砂中だより

令和8年度 第2号
令和8年5月18日
江東区立第四砂町中学校
校長 小林 弘幸
<https://4suna-chu.koto.ed.jp>

自分たちの手で学校は変えられる…だから社会も変えられる

校長 小林 弘幸

4月6日に発表された日本財団の「18歳意識調査」の結果に、私は強い危機感を抱きました。「自分の行動で国や社会を変えられると思う」と回答した日本の若者は約5割で、他の国々と比べて依然として最も低いという結果が明らかになりました。これは、日本の若者が現状に満足しているからではありません。自国の将来について「良くなる」と答えた割合は、日本が6か国中最低であり、「どうなるか分からない」という回答の多さが際立っていました。また、学校で勉強をする意味について「特にない」と答えた日本の若者の割合が、他国に比べて突出して高かったことにも、大きなショックを受けました。しかし同時に、私の中で沸き上がってきた想いがあります。

「学校が変わらなければ、社会は変わらない。」

そして、学校こそが社会を変える出発点になれる。」

	日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
自分の行動で国や社会を変えられると思う	52.7%	66.7%	66.3%	69.5%	60.8%	78.0%
学校で勉強をする意味について「特にない」と回答した割合	19.3%	2.8%	2.0%	1.5%	2.6%	1.0%

(日本財団「18歳意識調査・第78回報告書」より)

なぜなら、学校は生徒にとって最も身近な「小さな社会」だからです。だからこそ、本校では学校生活そのものを「生きた教材」として捉えます。校則のあり方、行事の運営、学級の係・班活動など、これらを「決められたからやる・守る」のではなく、生徒自身の手で課題を見付け、改善や解決を図っていくプロセスを重視していきます。

たとえ同じ地域の中学生同士であっても、それぞれ異なる個性や意見をもっています。「対話」を通して、お互いの立場や背景を理解しながら、学級・学年・学校の全員が納得できる答えを生み出していく「合意形成」の営みは、決して簡単なことではありません。

また、答えにたどり着いたとしても、それで終わりではありません。自分たちで実行してみた上で、「本当にみんなのためになっているのか？」という視点で成果と課題を振り返り、試行錯誤しながら「正解」へと近づけていく努力が必要です。

最も難しいのは、立ち上げたときの熱量や成功したときの達成感を風化させないように、定期的に見直しを行って、「正解の鮮度を保ち続けていく」ことではないでしょうか。それこそが、民主主義を機能させるために最も必要な「当事者として参画する意識」を育み、よりよい未来社会を築いていくための原動力につながるものと考えます。

「自分たちの手で、学校は変えられた。だから、社会も変えられる。」

卒業する時、生徒たちが胸を張ってそう言える学校を、保護者・地域の皆様とともに創り上げていきたいと考えています。

令和8年度の主な生徒会活動～自分たちの学校は自分たちで創る！～

- ◆全ての委員会活動における「学校生活アクションプラン」の実践
- ◆「四砂中SNSルール」の改訂 ◆「いじめ防止」に向けた取組



第68回運動会

令和8年度の運動会を例年よりおよそ1か月早い 4月25日（土）に開催しました。今年度のスローガンは「切磋琢磨して、勝利を掴もう！～思い出を刻め～」

です。新年度が始まってからすぐに実行委員会を立ち上げ、どの学年も実行委員を中心に準備や練習に一生懸命取り組んできました。当日は半そででは少し肌寒い気温でしたが好天に恵まれ、100m走や学年種目、リレーなどの競技に、生徒たちは自分たちが主体となって全力で取り組んでいました。午後の閉会式では各学年の優勝クラスとE組の敢闘賞が表彰され無事に閉会しました。



部活動

5月8日（金）の午後に部活動保護者会を開き、令和8年度の部活動が本格的にスタートしました。今年度は昨年度と同様、下の表の通り6つの運動部と6つの文化部を開設しています。

また江東区の「特色ある部活動」の一つである女子サッカー部が本校を拠点として活動しています。

江東区では休日の部活動を段階的に地域展開しています。本校ではバドミントン部が昨年10月より、バスケットボール部、バレーボール部、ソフトテニス部が今年10月より土・日・祝日は地域クラブ活動となります。



ソフトテニス部	バドミントン部	科学部	美術部
男子サッカー部	バレーボール部	吹奏楽部	レクリエーション部
バスケットボール部	柔道部	パソコン部	文化探求部

生徒総会

令和8年度生徒総会を5月14日（木）の6校時に体育館で行いました。生徒会本部の今年度のスローガンは「TEAM

四砂」です。TEAMのTはthink（考える）、Eはestablish a plan（計画を立てる）、Aはaction（行動する）、Mはmake successful（成功させる）を意味しています。はじめに議長団が選出され、その後生徒会本部、学年、生活、美化、図書、保健給食、体育、放送の各委員会の活動内容と活動計画が述べられました。

またそれらに対する質問や要望なども出されました。生徒会本部に対しての「目安箱の機能を確立してほしい」という要望に対して、生徒会長から「デジタル目安箱を検討している」とのICTを活用する回答もありました。生徒会活動を活発にしてよりよい学校をつくっていきましょう。



月日	行事予定	月日	行事予定
5月20日（水）	3年修学旅行始 ※5月22日（金）まで	6月1日（月）	全校集会
5月25日（月）	全校集会・教育実習開始・尿検査二次	6月3日（水）	学校公開始 ※6月5日（金）まで
5月26日（火）	尿検査二次	6月5日（金）	セーフティ教室
5月27日（水）	2年職場体験始 ※5月29日（金）まで	6月11日（木）	進路説明会
		6月12日（金）	専門委員会・中央委員会
		6月15日（月）	生徒会集会